

人を対象とする研究等倫理委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	薬剤師・看護師による複合的な高齢者せん妄対策が睡眠薬と抗精神病薬の処方に及ぼす影響
②対象者及び対象期間	
<p>1) 処方量調査：取り組み前として、2020年11月1日から2021年10月31日まで、取り組み後として、2022年1月1日から2022年12月31日までのそれぞれの期間における、内科系診療科に入院した患者さん。</p> <p>2) 症例調査：取り組み前後に内科系診療科に入院していた患者さん、それぞれ30人以上ずつ 但し、1) 2)共に、緩和ケア内科に入院した患者さんと、緩和ケア病棟に入院した患者さんは含まれません。</p>	
③概要	
<p>高齢入院患者さんは、せん妄という突然発生して変動する精神機能の障害をきたす事があり、その対策は極めて重要となります。当院においても入院後にせん妄を発症する高齢患者さんは多く、その対応に難渋する場合も少なくありません。そのため、当院内科系病棟では、薬剤師・看護師が協力し、せん妄対策の取り組みを行ってきました。今回私達は、この取り組み前後でのせん妄に使用される睡眠薬や抗精神病薬等の処方の変化を分析し、この取り組みを評価する為に本研究を計画しました。</p>	
④申請番号	
⑤研究の目的・意義	<p>本研究の目的は、薬剤師・看護師によるせん妄対策前後における、睡眠薬・抗精神病薬の処方の変化を分析することで、当院で行ったせん妄対策が有効であったかどうかを評価することです。また、この評価により、当院における今後の更なるせん妄対策に繋げることが可能となります。さらに、本取り組みとその評価を発表することで、他施設でのせん妄対策の一助となることが期待できます。</p>
⑥研究期間	本研究の倫理委員会承認日～2026年3月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>電子カルテに保存されている薬剤のオーダ情報、病歴、血液検査結果を利用します。使用するデータは個人が特定された情報を削除した上で、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	薬剤（内服薬、注射薬）、病歴（性別、年齢、入院日数、入院時主病名、既往疾病）、血液検査結果
⑨利用の範囲	新潟県立加茂病院薬剤部
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟県立加茂病院 薬剤部 薬剤部長 青柳 和代
⑪お問い合わせ先	新潟県立加茂病院 薬剤部 山下 弘毅 TEL:0256-52-0701（内線1602）